

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス たんぽぽ江津		
○保護者評価実施期間	令和8年3月16日		～ 令和8年3月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和8年3月16日		～ 令和8年3月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の特性に合わせたプログラム(集団・個別) ★自立課題(身辺自立・家事課題・事務作業等) ★SST ★集団遊び(運動・工作・レクリエーション等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の目標をスモールステップでクリアできるような段階的なプログラムの作成 ・児童の興味関心を取り入れた教材の工夫 ・日常生活や就労をイメージした活動内容の提案と実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の支援会議で児童の様子や評価を元に課題の設定と手だてを具体的に話し合い、全員が共通理解した上で支援に携わるようにしている。 ・児童の現在の状況だけでなく、将来の社会生活もイメージした上で課題設定や支援のあり方を考えるようにしたい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの経験や体験ができるよう屋内外での活動や他事業所との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な体験や交流ができるような活動、自立支援に繋がる活動の設定(合同スポーツ大会、事業所交流、買い物学習、調理活動、公共交通機関利用等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の特性や興味に応じた活動内容を設定してきたが、今後は児童が自ら計画・実行するなど主体性や自主性を発揮できる活動も取り入れたい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の構造化と視覚支援の充実 ・物理的構造化された環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別スケジュールや個々に合わせた視覚支援(写真・絵カード・文字) ・学習・自立課題・余暇エリアの明確化 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な視覚教材の選定や配置を工夫し、個々が活動に集中できるようにしている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者交流会の案内はしているが、参加者が少ない。 ・日頃の児童の様子や行事について認識されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会の必要性や内容が保護者のニーズと合致していない。 ・ブログや通信等で定期的には発信しているが、どれくらい閲覧されているか確認できない事と評価時期に印象に残っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者交流会は保護者のニーズを聞きながら、実施時期や内容を再検討する。 ・個人情報の取り扱いに注意しながら情報発信(保護者専用連絡アプリ、LINEなど)の方法を検討する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・人員不足により土曜日の営業再開が難しい状況。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の人員では平日の配置基準を満たすことが精一杯で土曜に基準を満たす人員を配置できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人員の確保と人材育成。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス たんぽぽ江津

公表日 令和8年3月23日

利用児童数 21

回収数 16

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16				子ども一人一人のやりたいことをさせてもらえるため確保されていると思う。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15			1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16				スケジュールなど紙がはってあってわかりやすくなっていると思う。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16				いつも見た感じではきれいにされています。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16				いつも子どものやりたいことを時間を決めてしてくれます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14			1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16				自分の子どもにあった支援計画で助かっています。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16					
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	14			2		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14				2	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	16					いつも話を聞いてもらっているので大丈夫だと思います。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15				1	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15				1	
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15			1	いつも楽しく通所してます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15			1	パソコンを使えるのでいつも楽しそうです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1		1	土曜利用が再開するの待ってます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年3月23日				
たんぼぼ江津						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		ワンフロアのため児童や活動全体を常に見渡すことができる。活動内容等に合わせた空間を仕切り、構造化を図ったり、刺激を減らして集中できる環境を作っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		業務の流れをマニュアル化し問題があった場合は職員間で話し合いながらマニュアルを変更している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		第三者への依頼・評価を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		課題に応じて計画を作成し、目標を達成できるよう個別と集団の活動を組み合わせている。職員間で支援目標等を共有し一貫した支援に繋げている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		長期休業日など打ち合わせの時間が確保しにくい時は支援後に翌日の打ち合わせを行ったり、申し送りノートを活用している。	
21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6				

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校からの配付物やご家族からの情報、学校のHPを確認し、行事の把握に努めている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6	HPや放デイの部会などで情報を得るようにはしている。	協議会の案内はいただくが、開催時間と支援時間が重なり参加が難しい状況。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		今年度はみかん狩りを開催。参加された方からは好評だった。	案内はするものの参加者が少ない。保護者のニーズ、支援のあり方、交流会の形態等を検討していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		毎月通信を発行し行事予定を掲載している。活動の様子は定期的にHPを通じて発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		近所の子どもや高齢者と公園等で関わる機会はあるため、今後は地域住民を招待できるような行事企画の検討を行う。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1		

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		緊急時引き渡し訓練を実施。保護者にも協力頂いたことで周知できた。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		外出時の計画書には外出先の近隣のAED設置場所や病院のマップを添付し、緊急時にも対応できるようにしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	6		3事業所合同で委員会を組織運営している。定期巡回により適切な支援ができていないかチェックすることで虐待防止に繋げている。	
55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				